

OSAKI ELECTRIC CO., LTD.

取扱説明書

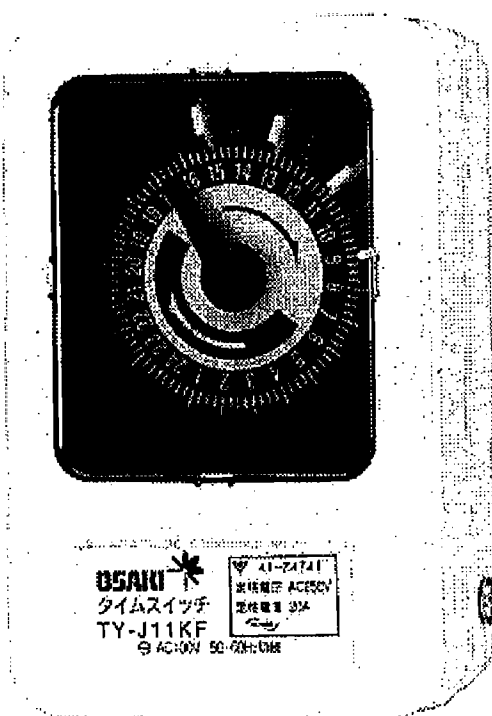
同期電動機式

(100V・200V指定)
50・60Hz切換

大崎タイムスイッチ TYシリーズ

(24時間制御用)

TY-J11KF



このたびは大崎同期電動機式タイムスイッチをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。

本装置を正しく使っていただくために、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになったあとは、必ず保存していただきますよう、お願い申し上げます。



大崎電気工業株式会社

目 次

1.	安全上のご注意	1
2.	各部の名称	4
3.	取付方法	4
4.	接続	5
4-1	接続手順	5
4-2	端子配置図	5
4-3	適用電線と圧着端子	5
5.	接続例	7
6.	設定	8
6-1	設定手順	8
6-2	開閉プログラムの設定	8
6-3	現在時刻の設定	9
6-4	電源周波数の設定	9
7.	運転	10
8.	取り外し・廃棄	10
9.	外形寸法図	11
10.	停電補償について	11
11.	構成	11
12.	仕様	12
13.	保証期間	12
14.	別売部品	12




1 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・表示とその意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
 危険	誤った取扱を行った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。
 注意	誤った取扱を行った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および、物的損害のみ発生が想定される場合を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。


図記号の例

表示	表示の意味
	◇は危険を示します。 具体的な内容は◇の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な内容は⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は強制（必ずすること）を示します。 具体的な内容は●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「一般の義務的行為」を示します。


■施工上の注意事項

危険

- ・電気工事は有資格者（電気工事士）が行うこと


 工事に不備があると火災や感電などの事故の原因となります。
専門業者

- ・必ず保護装置を設置すること

 取り付け電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「労働安全衛生規則」などの関連法規に従って、電源側に保護装置（ブレーカ等）を設置してください。

工事に不備があると火災や感電などの事故の原因となります。

- ・配線工事は保護装置を「切」にして行うこと

 感電などの事故の原因となります。

- ・配線工事を行う時には必ず取扱説明書を読んで、それに従うこと



取扱説明書確認

感電などの事故や負荷機器の物的損害などの原因となります。

- ・定格以上の負荷および三相負荷を制御する場合には、電磁開閉器等を併用すること



施工注意

火災などの事故や本体の故障の原因となります。

- ・端子ねじは確実に締め付けること
ゆるみがあると火災の原因になります。

⚠ 注意

- ・タイムスイッチは一般の時計と同様、ていねいに扱うこと
- ・持ち運ぶ時には、カートンボックスに入れて振動や衝撃が加わらないようにすること
- ・ほこりが入らないように、カバーはいつも取り付けておくこと
- ・カバーを外す場合には内部に塵埃が入らないように注意すること
- ・タイムスイッチは壁面に垂直に固定すること

■使用上の注意事項

⚠ 危険

- ・端子カバーは必ず取り付けること



感電注意

端子や電線に直接接触して、感電などの事故の原因となります。

⊘ 禁止

- ・次のような場所での使用をしないこと

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・周囲温度が-10°C～$+50^{\circ}\text{C}$の範囲を越える所 ・周囲湿度が85%を越える所や、85%以下でも結露する所 ・水がかかったり、直射日光（紫外線）が当たる所 ・振動や衝撃の多い所 | <ul style="list-style-type: none"> ・ノイズやサージを発生する機械のある所 ・強電界、強磁界の発生する所 ・油、油煙のかかる所 ・埃（特に鉄粉やカーボンなどの導電性の粉塵）やアンモニア、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスの多い所 |
|--|---|

誤動作、寿命低下、事故、故障の原因となります。

■保守・点検・廃棄上の注意事項

注 意

- ・保守・点検は電気工事士の資格を有する者が行うこと



保守・点検は定期的に（年1回程度）行ってください。
端子の締め付けが緩んでいたりすると火災などの事故の原因となります。

- ・分解、改造やご自身での修理を行わないこと



感電、火災などの事故や本体の故障の原因となります。

- ・異常が起きた時には電源側の保護装置（ブレーカ等）を切り、電気工事士の資格を有する者に連絡すること



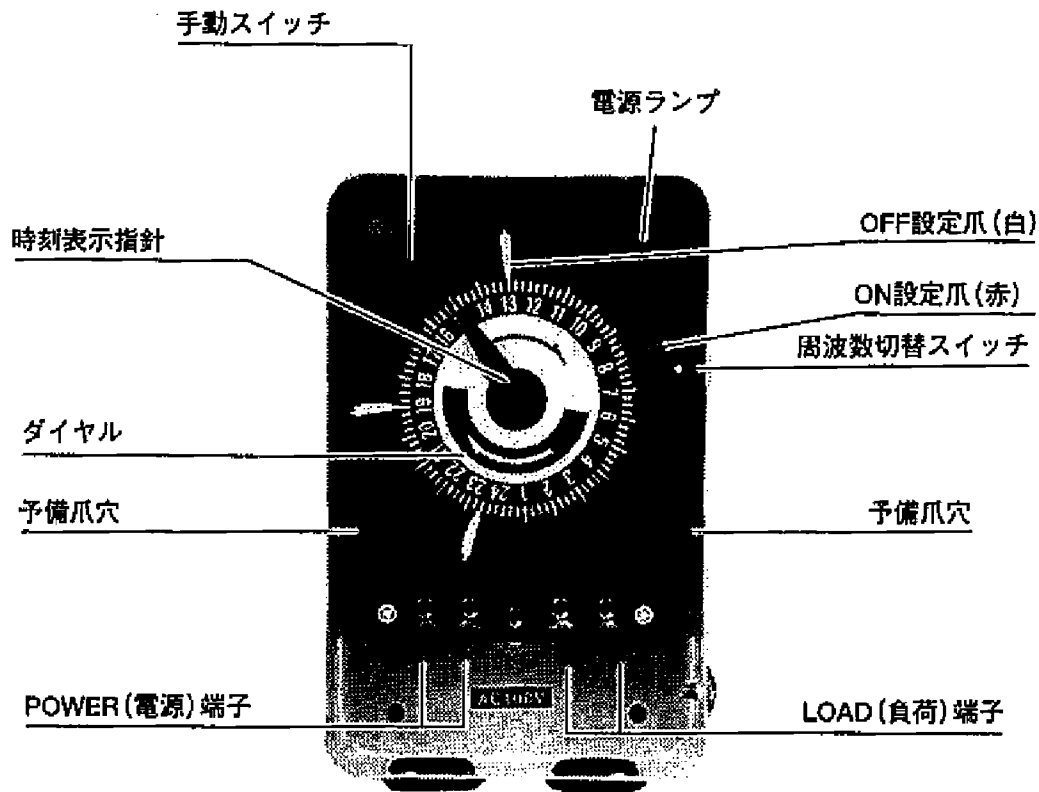
そのまま使用すると火災や負荷機器への悪影響の原因となります。

- ・廃棄する場合は、産業廃棄物として処分すること



2

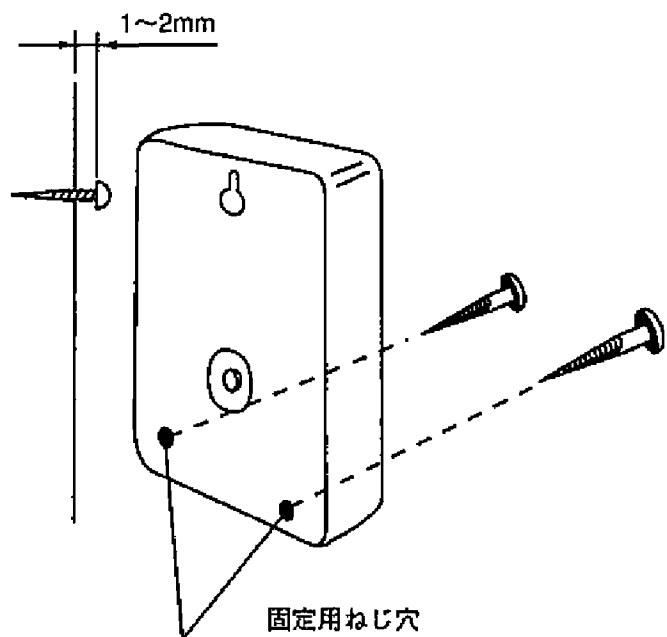
各部の名称



3

取付方法

- ・取付ねじにダルマ穴を掛けて下の2つの固定用ねじ穴を用いて取付ねじで固定して下さい。



4

接 続



感電注意

- ・配線工事は保護装置(ブレーカ等)を「切」にして行うこと。
- ・接続終了後は端子カバーを必ず取り付けること。



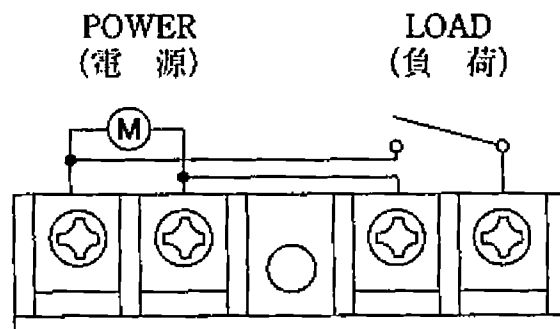
注意

- ・端子ねじは確実に締め付けること。
適正締め付けトルク [1.5~1.8N・m (約17kgf・cm)]
- ・保護装置を「入」にする前に結線に誤りがないことを確認すること。
火災などの事故や本体の事故の原因となります。

4-1 接続手順

- ①保護装置(ブレーカ等)を「切」にし、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
 - ②電源線をPOWER(電源)端子に接続してください。
 - ③手動スイッチで負荷回路をOFFにしてください。
 - ④「5. 接続例」に従って負荷機器をLOAD(負荷)端子に接続してください。
 - ⑤全ての接続が終了した後、接続に誤りがないか、また、端子ねじが確実に締めつけられているかを確認してください。
 - ⑥端子カバーを取り付けてください。
 - ⑦保護装置(ブレーカ等)を「入」にし、負荷機器の動作を確認してください。
- ※電線の引き込みはゴムブッシュ中央を貫通させてください。

4-2 端子配置図



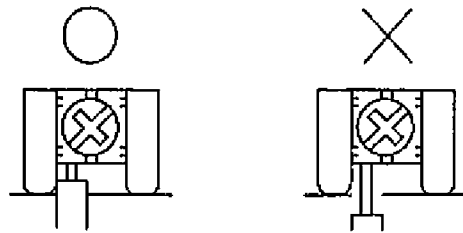
4-3 適用電線と圧着端子

- ①端子への接続可能電線サイズと本数は次のとおりです。

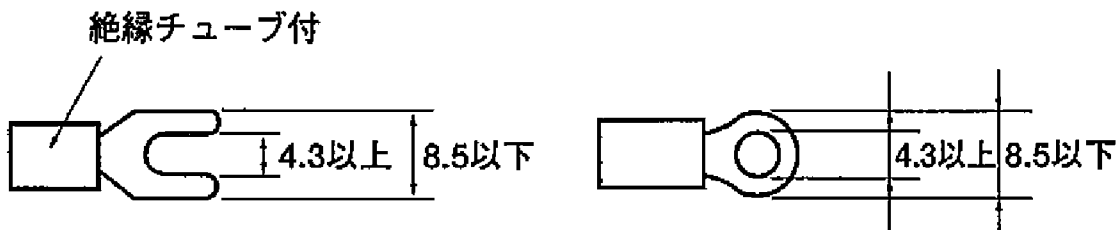
600Vビニル 絶縁電線	単線の場合	$\phi 1.6 \sim \phi 2.0$	2本まで
	ヨリ線の場合	$2.0\text{mm}^2 \sim 3.5\text{mm}^2$	2本まで

注) ヨリ線の場合は絶縁チューブ付圧着端子をご使用ください。

②電線を直接締め付ける場合は皮むき部分（10～13mm）が端子部から出ないようにしてください。

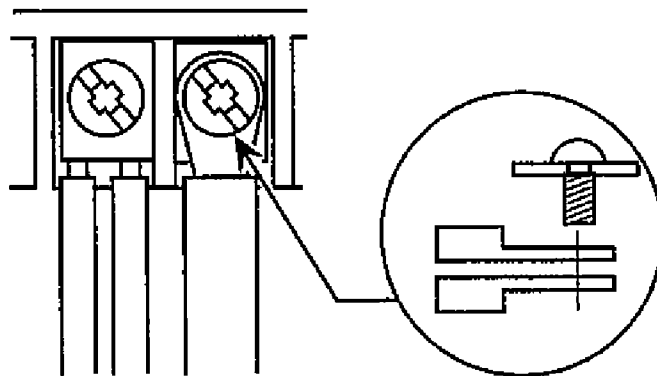


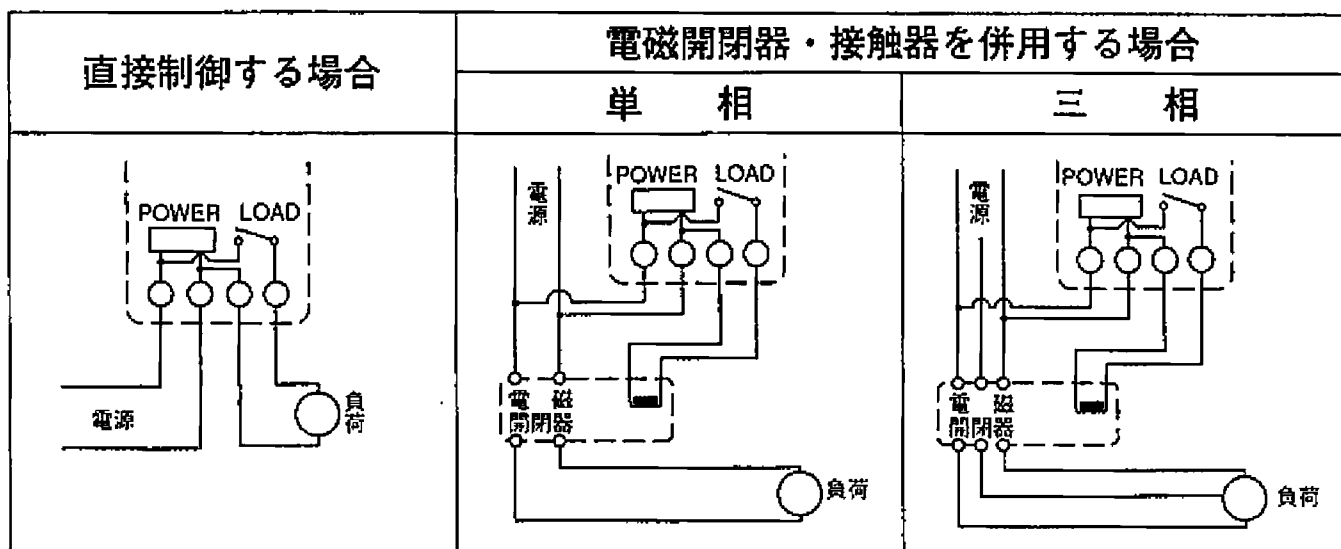
③絶縁チューブ付圧着端子を使用する場合は下図の寸法のものをご使用ください。この寸法以外のものを使用すると端子部の破損等の恐れがあります。



圧着端子部はご使用になる電線のサイズに合わせてお選びください。

④1端子に接続する電線は最大2本とし、電線を直接締め付ける場合には、ねじの両側に差し込んでください。圧着端子の場合には背中合わせにして締め付けてください。





⚠ 危険

- 電源側には関連法規に従って、漏電遮断器、配線用遮断器、ヒューズなどを設置してください。
- 直流負荷の場合は接点保護のため直接制御しないで交流電源側で制御してください。
- 制御負荷の容量がタイムスイッチの接点容量を越える場合や三相負荷の場合は必ず電磁開閉器等を併用してください。(直接制御できる負荷の容量は、負荷の種類によって異なりますのでご注意ください。また、電磁開閉器は投入時の励磁電流が誘導負荷定格を越えないものを選定してください。)

6

設定

6-1 設定手順

- ①カバーを取り外してください。
- ②開閉プログラムを設定してください。
- ③現在時刻を設定してください。
- ④カバーを確実に取り付けてください。

6-2 開閉プログラムの設定



禁止

- ・制御ダイヤルは絶対、矢印の反対方向に回さないこと

本体の故障の原因になります。



注意

- ・スイッチ部の近くに爪をセットする場合には爪とスイッチが接触しない位置にダイヤルを回してから行うこと。

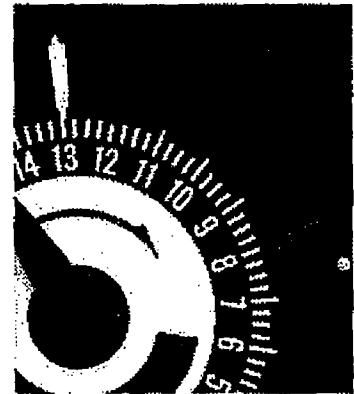
- ①ダイヤル上には赤・白の爪がそれぞれ3個取りつけてありますのでONしたい時刻（設定単位15分）に赤い爪を、OFFしたい時刻に白い爪を差し込み直してください

〈設定例〉

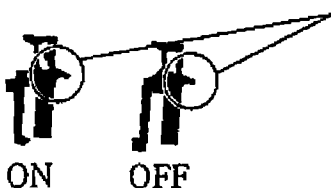
午前8時に出力をONし、午後1時に出力をOFFする場合

- ・赤い爪 (ON) …… 8時の所の溝に差し込んでください。
- ・白い爪 (OFF) ……13時の所の溝に差し込んでください。
- ・あまった爪は取り外して予備爪穴に差し込んでください。
- ・爪がたりない場合には代理店または弊社営業にご注文ください（別売です）。

- ②取付、配線とプログラムの設定完了後、ダイヤルを手で右回転させ、動作の確認をしてください。



赤・白・爪セットの時



この部分が文字側になるようにセットしてください。

6-3 現在時刻の設定



禁止

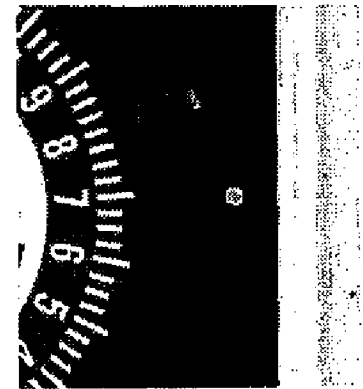
・制御ダイヤル中央の時刻表示指針は動かさないこと

- ダイヤルを手で矢印方向に回して時刻表示指針に現在時刻を合わせてください。ダイヤル板には約半目盛の遊び（回転方向のガタ）がありますので、遊び分を戻した位置が現在時刻となるように合わせてください。



6-4 電源周波数の設定

本体表面の右側にある周波数切換スイッチを
(一) ドライバー等で切換えて、使用する地区の電源周波数に合わせてください。



7

運 転



カバー装着

- ・運転に入る前にカバーを取り付けること
塵埃の侵入により、本体の故障の原因となります。

- ①接続および設定を確認し、カバー、端子カバーが確実に取り付いていることを確認してください。
- ②電源側の保護装置（ブレーカ等）を「入」にしてください。電源ランプ（P.L）が点灯します。
- ③手動スイッチにより、設定爪の設定に関係なく負荷回路をON、OFFできます。
- ④停電時には時計が停止します。復電時には現在時刻を再設定してください。

8

取り外し・廃棄

8-1 取り外し



感電注意

- ・保護装置を「切」にして行うこと
感電などの事故の原因となります。

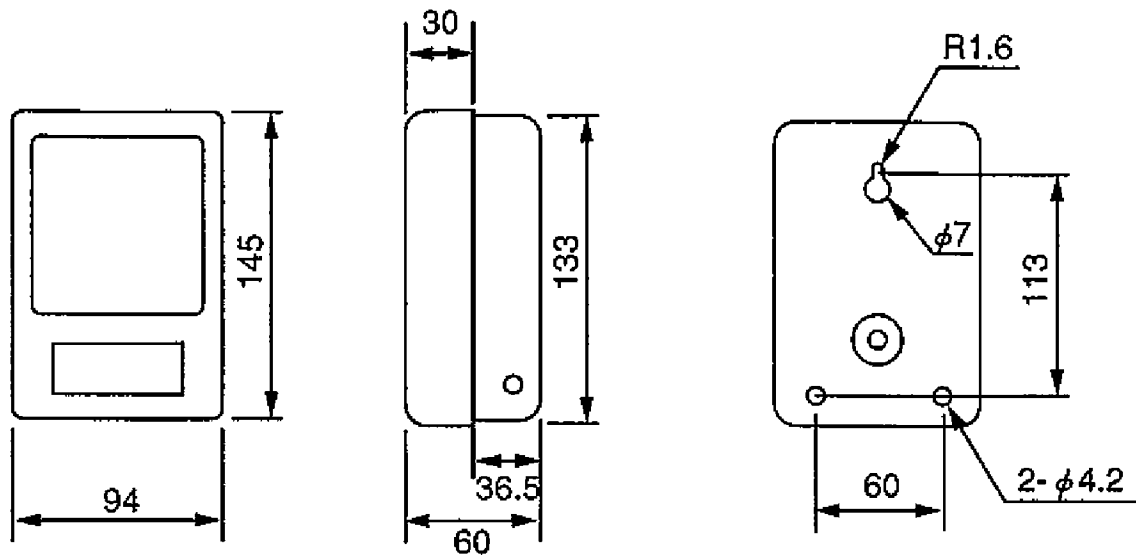
- 都合によりタイムスイッチを取りはずすときは、保護装置を「切」にして行ってください。
- 保管する場合には Kartonボックスに入れて保管してください。

8-2 廃棄

- 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。

9

外形寸法図



10

停電補償について

○停電補償機能は有りません

停電があった場合には停電時間分だけ現在時刻が遅れますので、復電時に現在時刻を再設定してください。

11

構成

- ①本体 TY-J11KF
- ②付属品 木ねじ 3本
- ③添付書類 取扱説明書 (1部)

12 仕様

型名	TY-J11KF		
制御方式	同期電動機式 24時間制御		
電源	定格電圧	AC100V・AC200V (購入時指定)	
	許容電圧変動	定格電圧の85~115%	
	電源周波数	50Hz・60Hz切換式	
	停電補償	無し	
	消費電力	約2VA (定格電圧印加時)	
出力	回路構成	電圧出力 a接点 1回路	
	接点容量	抵抗負荷	20A
		白熱灯負荷	20A
		誘導負荷	15A (cosφ=0.4以上)
設定	方式	設定爪差込方式	
	設定時間間隔	最小 15分 (設定単位15分)	
	設定回数	最大 96回 (入・切 合計)	
使用温度・湿度	-10~50℃ 85%以下		
重量	420g		
取付方法	表面取付		

13 保証期間

納入品の保証期間は、ご注文のご指定場所に納入後1年といたします。

14 別売部品

つぎのとおり、別売部品を用意しています。ご注文の際には、個数をご指定ください。

○設定爪

時計精度

電源周波数安定度による

